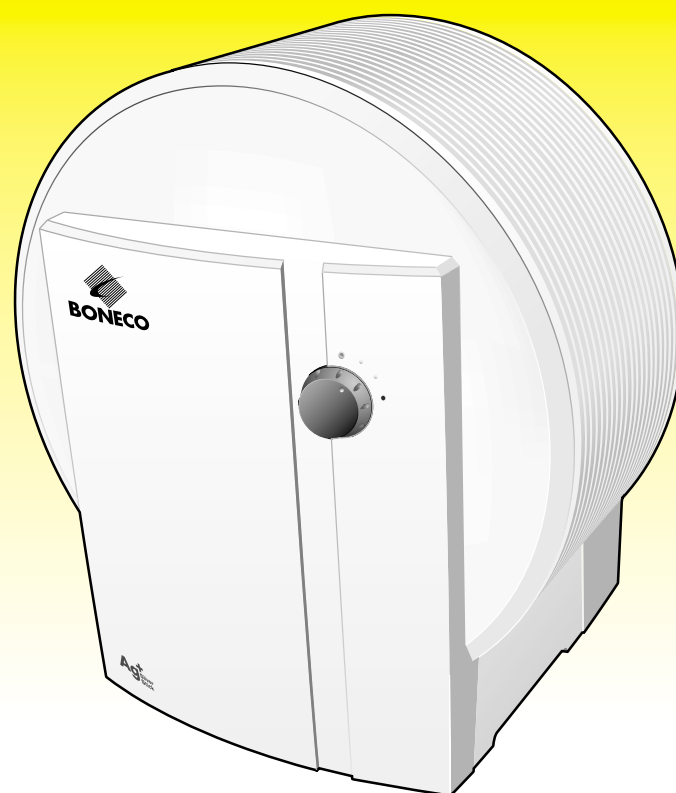
ボネコ
ディスク型 気化式加湿器
ディスクエバポレーター
Mod.1355W
取扱説明書

特長

■ 自然な加湿――気化式

お部屋（空気）の乾燥具合に応じて適度の加湿を行いますので、加湿し過ぎることがありません。また、水をそのまま散布しないので、カルキ等で家具を傷める心配がありません。

■ お部屋の空気を洗浄

加湿と同時に、空気を洗浄します。空気中のタバコの煙や花粉などの微粒子は塗れた加湿ディスクに付着し、水槽に取り込まれます。

■ 一日中（24時間）運転して、約8円

空気吸込み用のファンおよびディスクユニット回転用モーターの消費電力は、「強」運転時に15W/50Hz、12W/60Hz。一日中稼働しても約8円と、とても経済的です（1kW/h＝22円として算出した場合)。

■ 30畳のお部屋までOK

最大30畳のお部屋までご利用になれます。

■ 安心の抗菌システム『Ag+』

水槽内にセットされたシルバースティックの抗菌作用により、水中の雑菌の繁殖を抑えます。また、放出される霧状の水分粒子は非常に小さいので、雑菌が水分粒子に取り込まれてお部屋に放出されることはありません。

■ ディスクユニットで経済的

ディスクユニットは、洗浄することで繰り返し使用できます。フィルター交換が不要のため、経済的です。

Swiss Quality

この製品は、スイス・プラストン社により同社チェコ工場で製造されたものです。

この度は、ボネコ ディスク型 気化式加湿器「ディスクエバポレーター」をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。
本製品を正しく安全に使っていただくため、ご使用の前に、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになった後は、保証書と共に大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意

1. ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
2. ここに示した注意事項は、製品を正しく安全にお使いいただき、あなたや他の人々への損害を未然に防止するものです。
3. 注意事項は、誤った取り扱いで生じることが想定される内容を、その危害や損害および切迫の度合いにより、「警告」と「注意」の2つに分け、明示しています。

	警告	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
	注意	**この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

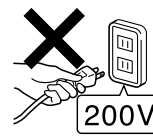
4. 各注意事項には、「注意」、「禁止」、「強制または指示」をうながす絵表示が付いています。

 発火注意　 感電注意　 高温注意　 禁止行為

 分解禁止　 強制／指示　 プラグをコンセントから抜く

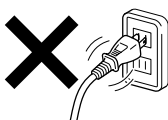
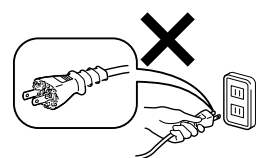
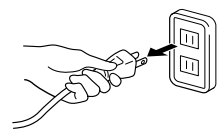
電源について　⚠ 警告

● **電源は、「15A 125V」と記されているコンセントから直接とる**
それ以外のコンセントから電源をとると、火災や感電の原因となります。

● **電源は、家庭用交流100V／50・60Hzで使用する**
それ以外で使用すると、火災や感電の原因となります。

プラグについて　⚠ 警告

● **濡れた手でプラグを抜き差ししない**
感電の原因となります。

● **プラグを持って抜き差しする**
電源コードを持たず、必ずプラグ部分を持って抜き差ししてください。電源コードを持って抜き差しすると、火災や感電の原因となります。

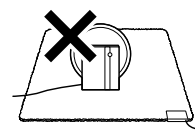
● **プラグはしっかりと差し込む**
しっかり差し込まないと、火災や感電の原因となります。

● **コンセントの差込み口やプラグに付いたゴミ、ほこりは取り除く**
ゴミやほこりで電気がショートしやすくなり、火災の原因となります。定期的に取り除いてください。

● **使用時以外はプラグをコンセントから抜く**
火災の原因となることがあります。

電源コードおよびコンセントについて　⚠ 警告

● **破損した電源コードやプラグ、コンセントは使用しない**
- 電源コードやプラグが破損していたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。感電、ショート、発火の原因となります。お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。
- 使用中、電源コードやプラグが異常に熱くなる場合は、ただちに使用を中止してプラグをコンセントから抜き、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

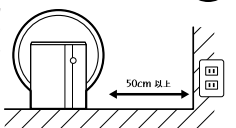
● **電源コードやプラグを乱雑に扱わない**
電源コードやプラグを無理に曲げる、物をのせる、傷を付ける、熱に近づける、引っぱる、ねじる、束ねるなどしないように、ていねいに扱ってください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

使用場所について ⚠ 警告

● 子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所やペットの近くで使用しない
けがや感電をする危険があります。

● テレビ、ステレオ、ホットカーペットなど、電気製品の上で使用しない
水がこぼれると故障や感電の危険があります。

使用場所について ⚠ 注意

● 平らで安定のよい場所に置いて使用する
不安定な場所に置くと、本製品が転倒し、けがや故障の原因となります。

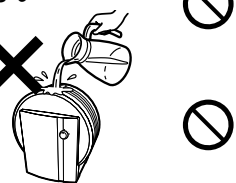
● 本体の両脇を家具などでふさがない
両脇の送風孔をふさぐと、風（湿った空気）が部屋中に行き渡りません。家具などから50cm以上離して設置してください。

● ストーブなどの暖房器と併用するときは、離して置く
故障の原因となります。

● 就寝時に使用するときは、風が身体に直接当たらない場所に置く
身体が冷え過ぎて体調を損なう原因となります。

使用上のご注意 ⚠ 注意

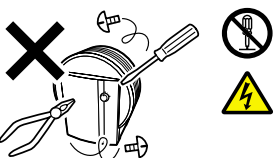
● 本製品を、他の用途や屋外で使用しない
この製品は、室内用の加湿器です。他の目的や屋外で使用すると、けがや故障の原因となります。

● 空気吸込み口から絶対に給水しない
故障や感電の原因となります。

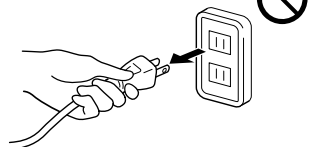
● 本製品に腰掛けたり、物を乗せない
けがや故障の原因となります。

● タンクには水道水を入れる
断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水などを使用すると、故障の原因となります。

● 持ち運ぶときは、底の水槽を持つ
上部のカバーを持つと、水槽が落下し、故障の原因となります。

お手入れについて ⚠ 警告

● 改造や分解、修理をしない
感電やけがの原因となります。修理は、お求めの販売店または弊社サービスセンター（裏表紙参照）までご相談ください。

● 本体や電源コード、プラグを水に浸けたり、水洗いしない
故障や感電の危険があります。

お手入れについて ⚠ 注意

● お手入れの前に電源プラグをコンセントから抜く
本製品が転倒して、けがをする危険があります。

● 金たわし、ベンジン、クレンザー、シンナーなどは使用しない
各部品が傷ついたりする恐れがあります。

● 一週間以上使用しない場合は、必ずタンクと水槽の水を捨てる
水が入ったまま放置しておくと、異臭の原因となります。

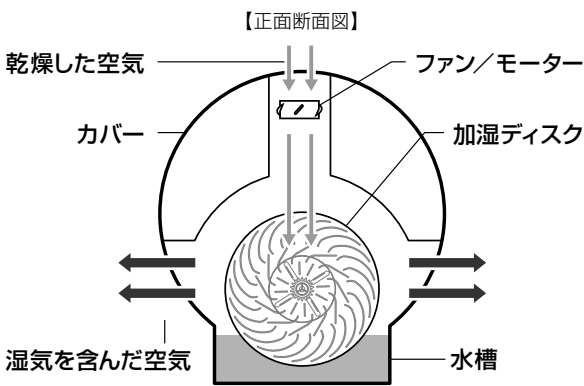
● シルバースティックの変色部分を紙ヤスリや金ブラシでこすらない
抗菌効果が損なわれる原因となります。

● お手入れ後は、各部品をよく乾かしてから取り付ける
各部品が乾いていない状態で組み立てると、故障の原因となります。

知っておいていただきたいこと

加湿は“気化式”です

「湯気」や「霧」を強制的に発生させるのではなく、22枚の加湿ディスク（プラスチック製）を水で濡らし、お部屋（空気）の乾燥具合に応じて自然に加湿する＝気化原理に基づいた“気化式”の加湿器です。
使用するお部屋の環境により多少異なりますが、常に最適なレベル（湿度50%前後）の加湿を行うことができます。

【正面断面図】
乾燥した空気
ファン／モーター
カバー
加湿ディスク
湿気を含んだ空気
水槽

空気を洗浄します

空気と共に吸い込まれたタバコの煙や花粉などの微粒子は、加湿ディスク（22枚）の間を通過する際にディスク表面の水に付着し、水槽に取り込まれます（★）。そして、洗浄された空気が室内に放出されます。なお、湿度の高い（加湿不要の）室内では加湿が止まり、空気の洗浄のみを行います。

★水槽に取り込まれた微粒子は底に沈殿しますので、7ページ「お手入れのしかた」を参照し、定期的にお手入れをしてください。

ディスクエバポレーター Mod.1355Wの微粒子／ガスの除去性能試験結果

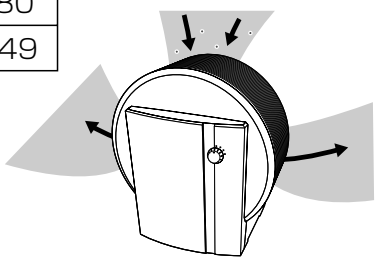
（財団法人 北里環境科学センター調べ）
データに関しては、デロンギ・ジャパン（株）までお問い合わせください。

■ タバコの煙（粉塵）を用いた濃度測定結果

経過時間（分）	0	30	60	90	120	150	180
粉塵濃度（mg/m^3）	4.17	4.17	4.17	3.76	2.83	1.91	1.49

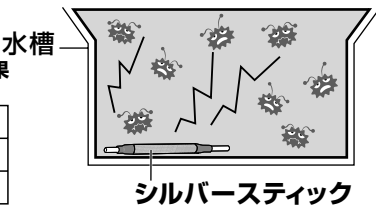
■ ホルムアルデヒド（無色ガス）を用いた濃度測定結果

経過時間（分）	0	5	10	20	40	80
ガス濃度（mg/m^3）	>32.5	13.2	11.7	4.9	2	<0.05

※経過時間と共に粉塵濃度・ガス濃度は低減されます。

水槽に抗菌システムを採用しています『Ag$^+$』

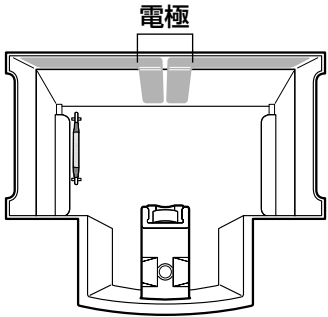
水槽内にシルバースティックを設置し、銀イオンの抗菌作用で水中の雑菌の繁殖を抑えます。

シルバースティックの抗菌性能試験結果
（財団法人北里環境科学センター調べ）

試験菌名	不活性化効率
レジオネラ菌	99.5 %
インフルエンザ	99.6 %

“省エネ” 設計です

水を気化するには“自然の原理”を利用しますので、必要なエネルギー（消費電力）は、ファンとディスクユニットを回転させるモーター（15/12W）だけです。従来のスチーム式加湿器（消費電力：250〜350W）と比較すると約1/20以下の電力です。

水槽の水が少なくなると自動でモーターが止まります

本機は、水槽内に取り付けた2本の電極に微弱電流を流すことで、水位をチェックしています。水槽内の水が少なくなる（約300ml）と電気が通らなくなり、自動的にモーターが止まり、電源ランプが緑色からオレンジ色に変わります。
電源ランプがオレンジ色に点灯している場合は、いったん電源を切ってからタンクに給水してください。

開梱時の注意

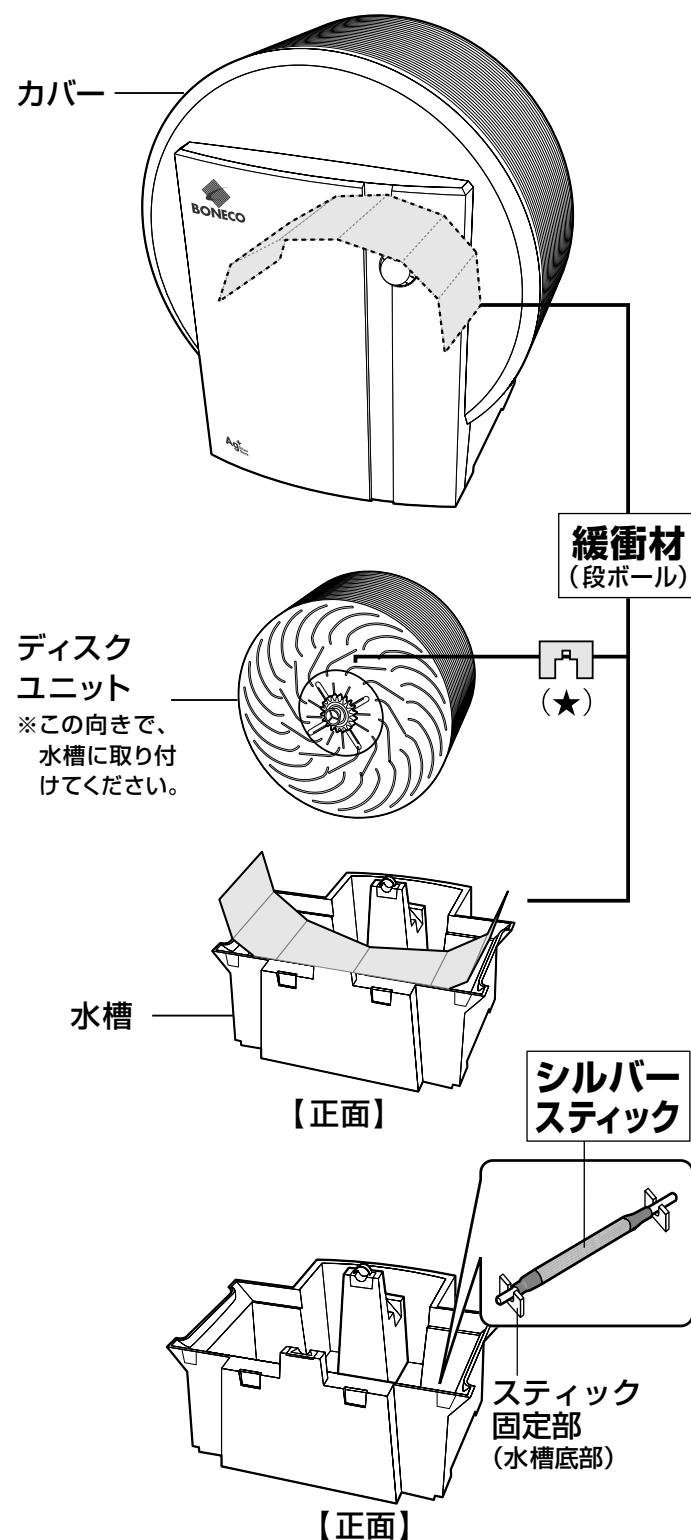
ご使用前に、必ずお読みください。

緩衝材（段ボール全3枚）を、必ず取り除いてください

ディスクユニット（加湿ディスク22枚）を輸送中の衝撃から守るため、カバーと水槽の内部に緩衝材として**段ボール（2枚）**が入っています。またディスクユニットの芯棒に小さな段ボールの緩衝材（★）がはさまっています。これらは、ご使用の前に必ず取り除いてください。取り除いた後は、水槽にディスクユニットを正しくしっかりと取り付け、カバーをしてください。

⚠ ご注意

緩衝材を残した状態でご使用になりますと、ディスクユニットが回転できず、故障の原因となります。

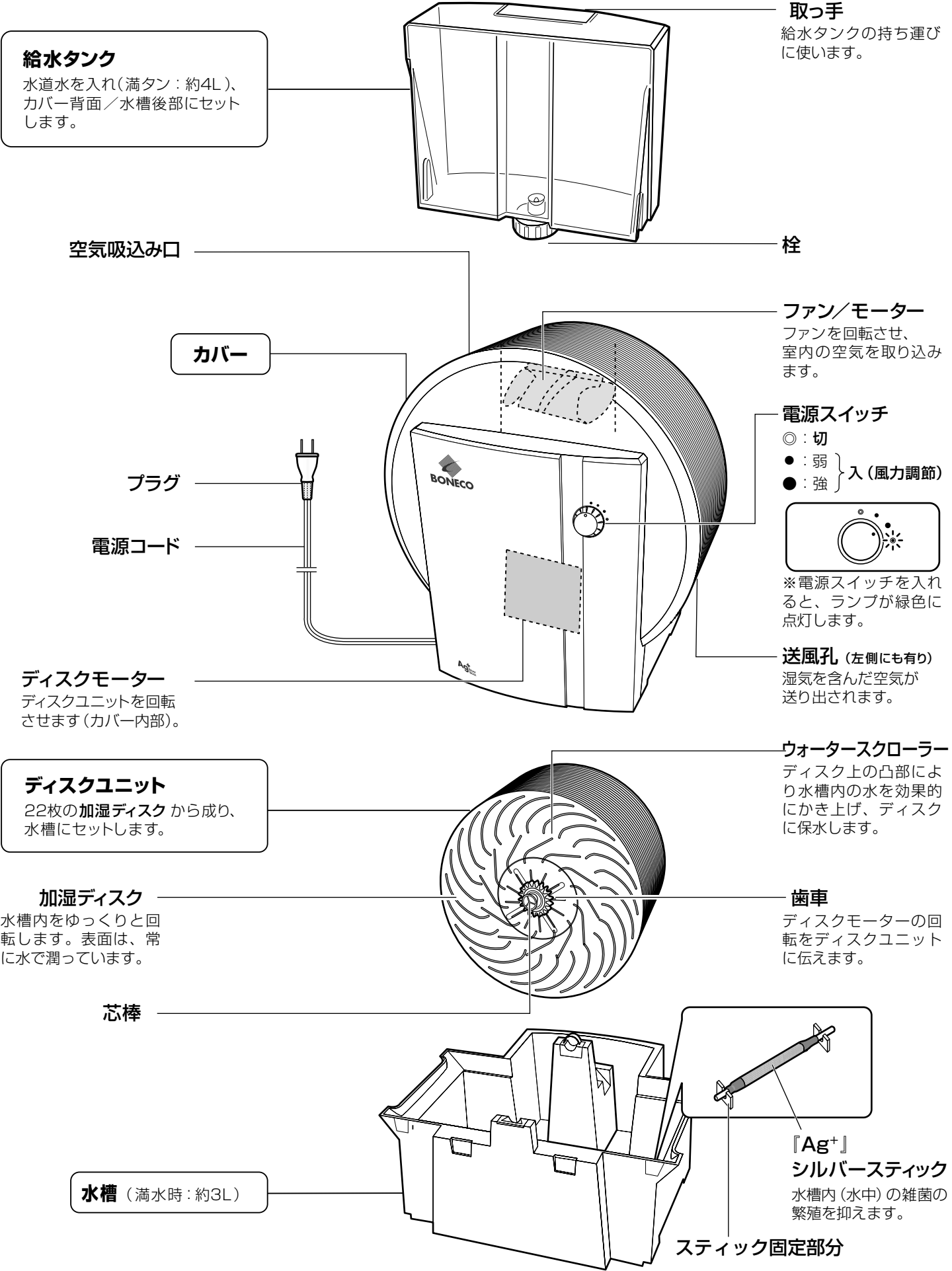
※緩衝材には、ディスクユニットに塗布した保水剤が染み込んでいる場合があります。保水剤は植物性中性洗剤と同質のものですので、ご心配はありません。手などに付着しましたら、水で洗い流してください。

シルバースティックが外れていたら…

水槽内底部に取り付けてある**シルバースティック（1本）**が輸送中に外れることがあります。外れていた場合は、所定の位置（右図参照）に取り付けてください。この時、シルバースティックの両端をスティック固定部にしっかりとはめ込んでください。

芳香剤（アロマオイル等）のご使用は、お止めください

水槽および給水タンクには、水道水（断水後や給水管の老朽化による赤水、または井戸水は不可）、浄水器で濾過した水、アルカリイオン水以外は入れないでください。芳香剤等を混入してご使用になりますと、製品（材質）が変色／変質して、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき

※必ず、カバーと水槽の内部から緩衝材（段ボール3枚）を取り除いてください（前ページ参照）。

使用手順

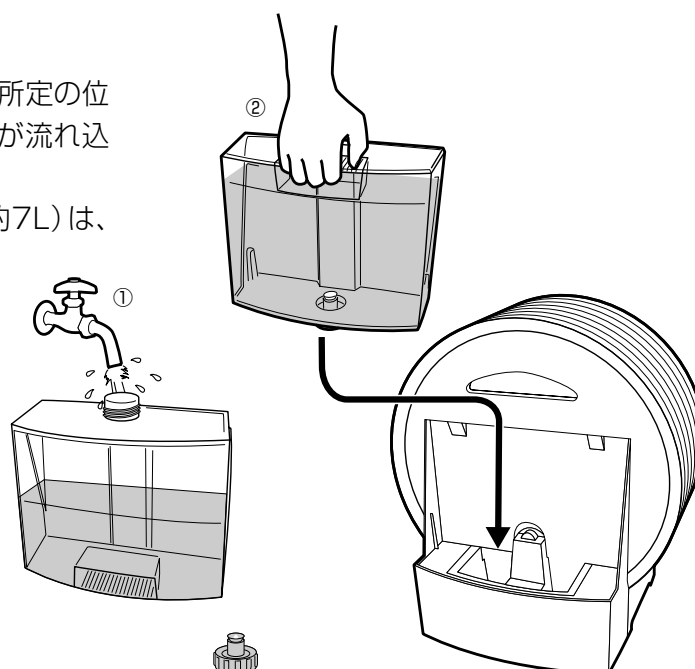
1 給水タンクを満タンにして、セットする

給水タンクに水道水（※）を満タン（約4L）にして、所定の位置（カバー背面）にセットすると、水槽に約3Lの水が流れ込みます。
給水タンクと水槽をともに満タンにした場合（合計約7L）は、長時間（約22時間）の連続加湿が可能です。

ヒント

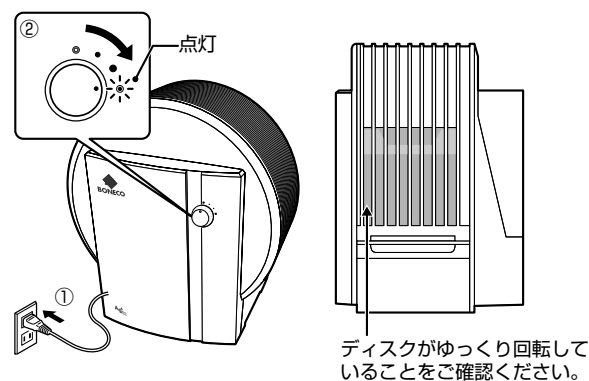
- 浄水器で濾過した水や、アルカリイオン水は使用できます。

⚠ ご注意

断水のあとや給水管の老朽化による赤水、または井戸水は使用できません。また、芳香（アロマ）剤は、使用できません。製品（材質）が変色／変質し、故障の原因になります。

2 プラグをコンセントに接続し、電源スイッチを入れる

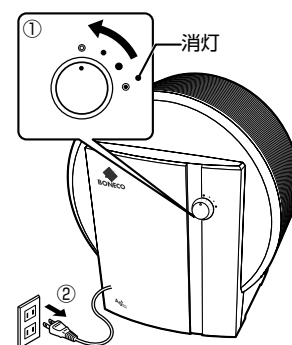
プラグをコンセントにしっかりと差し込み、電源スイッチを●（弱）または●（強）にセットします。ファンとディスクユニットが回転し、加湿が始まります。
途中、給水タンクの水位をチェックし、必要に応じて補給してください。

ヒント

- 7Lの満水状態で、約22時間の連続加湿ができます。

3 停止する：電源スイッチを切る

電源スイッチを◎（切）に戻し、プラグをコンセントから抜きます。

⚠ ご注意

1週間以上使用しない場合には、必ず水槽および給水タンクを空にして、次回は新しい水で加湿をしてください。

使用中のファン／モーター音について

本製品の構造上、使用中にモーターの回転音やファンの風きり音がわずかにあります。就寝時や音に敏感な方は、1. 使用／設置する場所を足元の方にできるだけ離す　2. 電源スイッチ（風力調節兼用）を「●」（弱）にセットする――をお試しください。また、ファン／モーター以外の音がするときは、各部の組立や取付けが不完全な場合があります。10ページ「故障かな？ と思ったら」を参照してください。

ディスクエバポレーター Mod.1355W の騒音レベル試験（JQA 財団法人 日本品質保証機構 調べ）

- 風力 弱（電源スイッチ「●」）…22～30dB 録音スタジオの静けさ、木の葉の擦れ合う音
- 風力 強（電源スイッチ「●」）…37～39dB ささやき声、夜の住宅街

お手入れのしかた

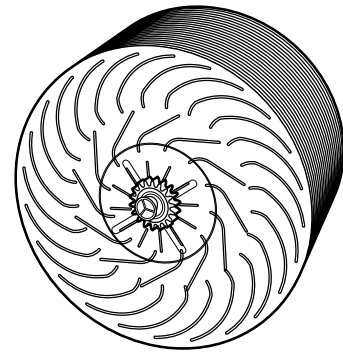
（お手入れは、定期的に行ってください）

⚠ お手入れをするときの注意点

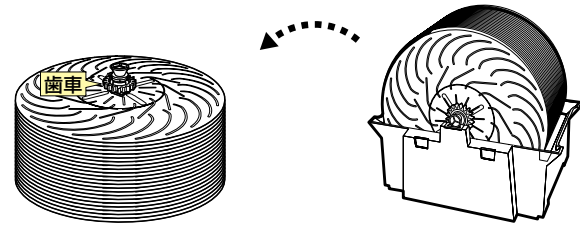
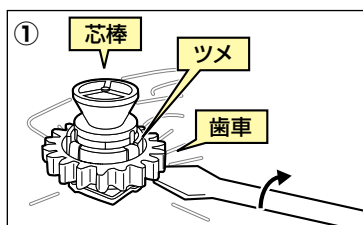
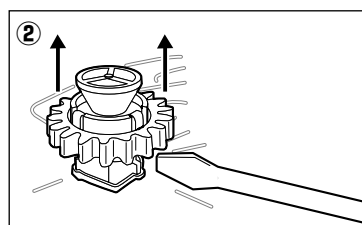
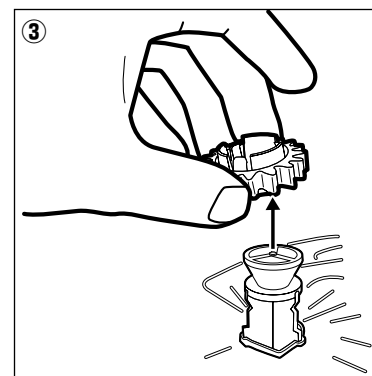
- 事前に、必ずプラグをコンセントから抜いてください。
- ディスクユニット（加湿ディスク他）は、分解してお手入れをしてください。
- クレンザーやシンナー、ベンジン、金たわしなどは、使用しないでください。
- （45℃以下の温度設定ができない）食器洗い機は、使用しないでください。
  変形する恐れがあります。

ディスクユニット（加湿ディスク） 水洗いできます

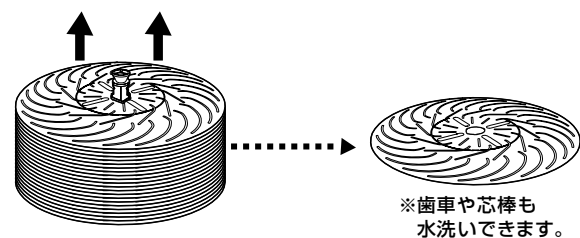
ディスクユニット（加湿ディスク22枚）は分解し、汚れ具合によりますが、1シーズンに1度を目安に、お手入れをしてください。柔らかいスポンジと台所食器用洗剤で水洗いします。落ちにくい汚れは、**酢3%の溶液**（ぬるま湯1L＋食用酢大サジ2杯）にしばらく浸し、スポンジで拭き取ります。後は、よくすすいでください。

ヒント
ディスクの白いくすみは、水に含まれる石灰分（カルキ）が付着したものです。石灰分が付くとディスクの表面積が増えて加湿に有効ですので、完全に除去する必要はありません。

簡単なお手入れ方法▶ディスクユニットを水槽に取り付けた状態で酢50%（酢1Lぬるま湯1L）の溶液、もしくは市販の石灰分除去剤を水槽に入れ運転させてください。酢を使用した時、運転中は室内に酢の臭いが充満しますので、必ず換気をしてください。

ディスクユニットの分解手順

1 ディスクユニットを水槽から取り外し、歯車を上にして置く

2 歯車を芯棒から外す

お手持ちの⊖ドライバーを横にして、歯車のツメの真下に差し込みます。

そのまま、⊖ドライバーが垂直になるように回し、歯車を押し上げます。

歯車を芯棒から抜き取ります。

3 加湿ディスクを抜き取る

加湿ディスク（22枚）を芯棒から抜き取り、お手入れ（上記参照）をします。

※歯車や芯棒も水洗いできます。

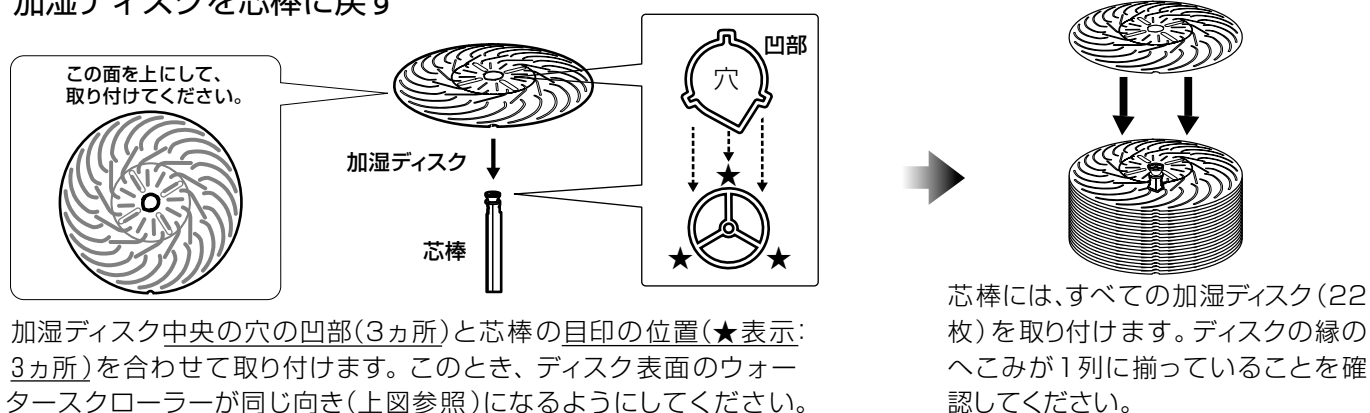
お手入れのしかた（続き）

ディスクユニットの組み立て手順

1 加湿ディスクを芯棒に戻す

加湿ディスク中央の穴の凹部（3ヵ所）と芯棒の目印の位置（★表示：3ヵ所）を合わせて取り付けます。このとき、ディスク表面のウォータースクローラーが同じ向き（上図参照）になるようにしてください。

芯棒には、すべての加湿ディスク（22枚）を取り付けます。ディスクの縁のへこみが1列に揃っていることを確認してください。

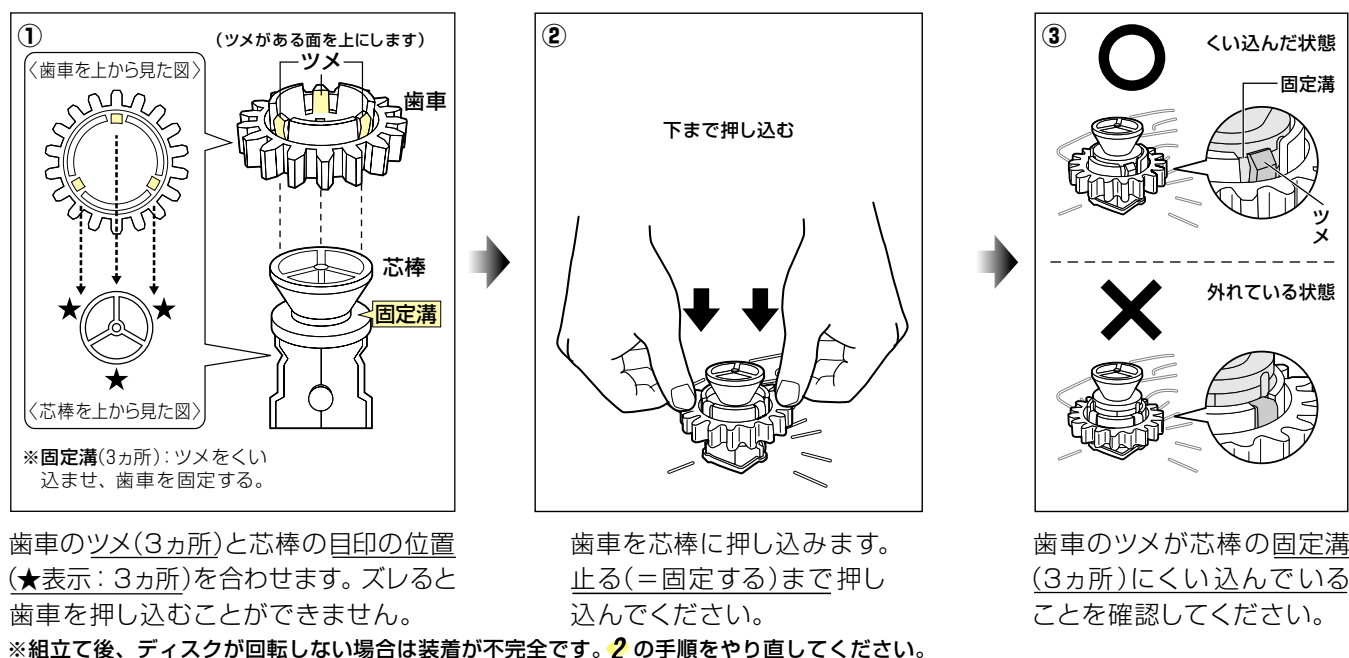
---

2 芯棒に歯車を取り付ける

※ツメの色（黄色）は説明上のもので、実際とは異なります。

歯車のツメ（3ヵ所）と芯棒の目印の位置（★表示：3ヵ所）を合わせます。ズレると歯車を押し込むことができません。

歯車を芯棒に押し込みます。止る（＝固定する）まで押し込んでください。

歯車のツメが芯棒の固定溝（3ヵ所）にくい込んでいることを確認してください。

※組立て後、ディスクが回転しない場合は装着が不完全です。2 の手順をやり直してください。

⚠ ディスクユニット（加湿ディスク）のお手入れに関する注意点

- ディスクユニットの分解／組み立ての際は、加湿ディスクや歯車を破損しないようご注意ください。
- 歯車は正確に取り付けてください。取り付けが悪いと、使用時に異音がしたり、加湿ディスクがうまく回転しません。
- ディスクユニットは、表面のウォータースクローラーが同じ向きになるように取り付けてください。逆向きにすると、水槽の水がすくえません。
- 加湿ディスクの表面に付着した石灰分（カルキ）をきれいに取り除くと、一時的にディスクの保水力（＝加湿能力）が落ちますが、1週間ほどの連続使用（運転）で元に戻ります。

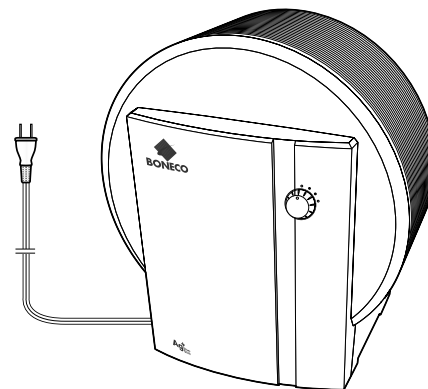
ヒント

- 早めにディスクの保水力を上げるには、水槽の水に台所用洗剤2〜3滴を加えてください。

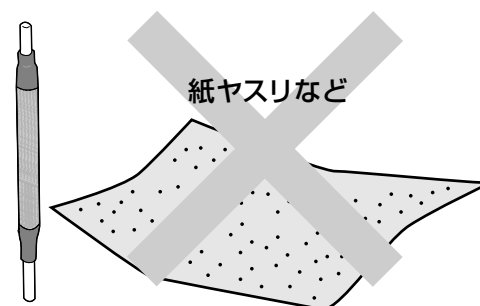
お手入れのしかた（続き）

カバー、プラグ／電源コード　水洗いできません

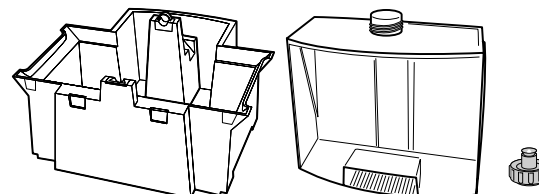
乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布に少量のお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。

⚠ ご注意
空気吸込み口や電源スイッチなどに水をかけないでください。故障の原因になります。

シルバースティック『Ag+』　水洗いできます

付着しているゴミやほこりなどは、水道水で洗い流してください。使っていくうちに銀の特性でメッシュ部分の銀が黒ずむ場合がありますが、性能に影響しません。なお、水槽のお手入れ（下記参照）前に、取り外してください。左右のスティック固定部から上に向かって引き上げると外れます。
※シルバースティックの寿命（有効期間）は、使用環境により異なりますが、5～6年（目安）です。期間を過ぎた場合は、デロンギ・ジャパン サービスセンター（裏表紙参照）まで、新しいシルバースティック（別売品）をお求めください。

⚠ ご注意
こすると銀が剥がれますので、お止めください。

水槽、給水タンク　水洗いできます

柔らかいスポンジと台所食器用洗剤を使って、水洗いしてください。水垢などの落ちにくい汚れは、**酢3%の溶液**（＝ぬるま湯1L＋食用酢大サジ2杯）にしばらく浸し、スポンジなどで拭き取ります。後は、よくすすいでください。

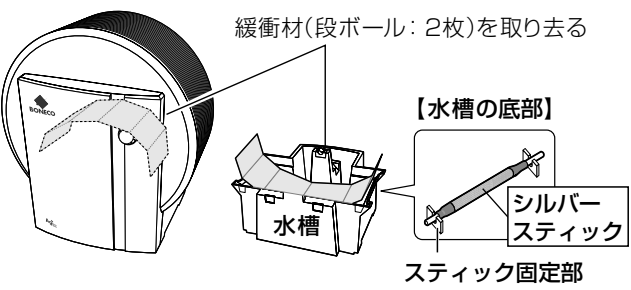
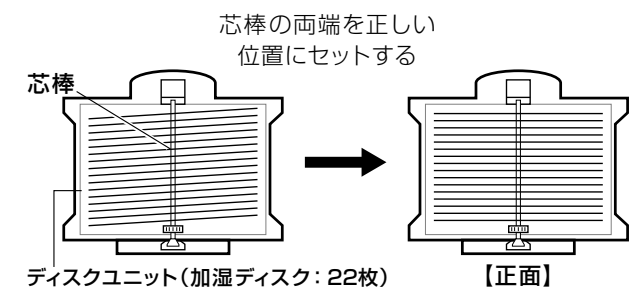
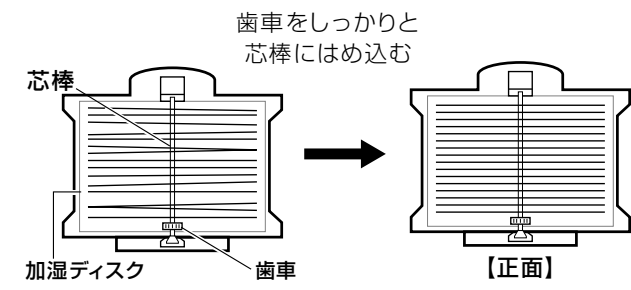
※空気の洗浄により、水槽にはほこりやタバコの煙、花粉などの粒子が付着していますので、定期的（1週間に1度の目安で）お手入れをしてください。

保管のしかた

お手入れ後、各部が完全に乾いてから組み立て、製品の入っていた元箱に戻し（またはカバーなどをして）、乾燥した場所に保管してください。

別売品のお求めについて

本製品購入販売店、または弊社サービスセンターにてお求めください。（裏表紙参照）

●シルバースティック

シルバースティックの寿命は5～6年です。汚れ等が気になる方は、新しいものと交換してください。
型番　Mod.PL-SMS
価格　3,360円（税込み・送料別途）

故障かな？ と思ったら

修理を依頼する前に、以下の点をお調べください。

使用中に異常が生じた場合は、直ちにスイッチを◎（＝切）にして使用を中止し、以下の点をお調べください。それでも正常に機能しない時は、お求めの販売店または**デロンギ・ジャパン サービスセンター**（裏表紙参照）までお問い合わせください。

状　態	考えられる原因	処　置
●カバーが上下に動く ●ガタガタと音がする	●カバーおよび水槽内に、緩衝材の段ボール（全2枚）が残っている	※詳しくは、4ページ「ご使用前の注意点」を参照してください。
●ディスクがこすれる音がする	●水槽内のシルバースティックが、外れかけている	※詳しくは、4ページ「ご使用前の注意点」を参照してください。
●ディスクがこすれる音がする	●ディスクユニットが、水槽に正しく取り付けられていない	芯棒の両端を正しい位置にセットする
●ディスクがこすれる音がする	●加湿ディスクが、芯棒と歯車できちんと組み立てられていない	歯車をしっかりと芯棒にはめ込む

仕様

製品名称／型式番号	ディスクエバポレーター／1355W	
定格 電圧／周波数	交流100V／50/60Hz	
定格 消費電力	50Hz［強:15W、弱:8W］	60Hz［強:12W、弱:7W］
適用畳数	～約30畳	
気化（加湿）能力	約300ml／時	
外形寸法／重さ	幅380×奥行330×高さ425mm／6.0kg	
水タンクの容量	7L（給水タンク:4L、水槽:3L）	
電源コードの長さ	1.65m	
付属品	シルバースティック×1（装着済み）	

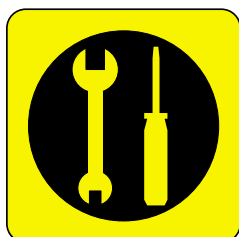
アフターサービスについて

BHI-60424

1)使用中に電源スイッチを入れてもファンやディスクが回転しないなどの問題が発生したときは、ただちに電源を切り、プラグをコンセントから抜いてください。
その後、お求めの販売店または弊社サービスセンター(下記)にご相談ください。

2)万一、故障／損傷した場合は、保証書に記載されている販売店に**1.お求め時期　2.製品名称と型式番号　3.故障の状況**――を連絡のうえ、修理を依頼してください。なお、弊社サービスセンターにご依頼される場合は、お電話または直接宅配便でお送りください。宅配便の場合は、必ず故障の状況を記したメモを商品パッケージ(梱包箱)に同封してください。

3)保証期間中(3年)は、保証書に記載されているものについては、無償で修理いたします。ただし、安全上および使用上の注意を無視しての故障、規格外に改造をしたものは、その限りではありません。また、保証期間が過ぎたものについては、有償で修理いたします。

4)真心点検のお勧め：長い期間ご使用いただくために、専門技術者による点検・整備も実施しております。点検の依頼の方法、料金などにつきましては、弊社サービスセンターまでお問い合わせください。
※下の枠内に、ご購入年月日を記入してください。点検の目安になります。

ご購入年月日:	年	月	日

5)デロンギ再資源化システムについて

ご不用になった製品は、下記の要領に従い、弊社サービスセンターまでお送りください。素材ごとに分別し、再資源化いたします。

送料について：再資源化の費用は弊社が負担いたしますが、送料はお客様のご負担(元払い)となります。予めご了承ください。

梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアーパッキンにくるんでください。
※外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または弊社サービスセンターまでお問い合わせください。

デロンギ・ジャパン サービスセンター▶(受付時間　土、日、祝日を除く毎日　9:30〜18:00)

コールセンター
修理について　Tel. 0120-804-280
Tel. 0120-692-885
お問い合わせ　Tel. 0120-064-300
Tel. 0120-692-880
／ Fax. 045-450-3291

● 横浜：〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-9　安田倉庫(株)内4号ビル
● 大阪：〒564-0044　大阪府吹田市南金田2-21-25

ホームページでのお問い合わせ(URL)　**http://www.delonghi.co.jp**

DēLonghi デロンギ・ジャパン株式会社

〒101-0044　東京都千代田区鍛冶町1-5-6　第3大東ビル　Tel.03-5256-6321(代)